

長崎大学水産学部同窓会誌

# 鶴友

第79号

09年7月



頭ヶ島教会 (新上五島町)

## ● 目 次 ●

### ごあいさつ

- 「鶴友第79号」の発刊によせて〈鶴水会会長：秦 章男〉…………… 1  
最近の入学と卒業の状況〈水産学部長：片岡 千賀之〉…………… 2

### 学部だより

- 第40回鴻洋祭を終えて〈平成21年度学友会 会長・3年：新名 真也〉…………… 3  
第53回全日本カッター競技大会結果報告  
〈水産海事情報学研究室 端艇部顧問：高山 久明（23・漁）〉… 5  
長大女子端艇部全日本2年振り3度目の優勝を果たす〈艇指揮・3年：橋口 侑美〉 5  
海洋研究会〈長崎大学水産学部 海洋研究会 会長：谷 洗祐〉…………… 8

### 同窓生からの寄稿

- 「城下（しろした）かれい」とはく上城 義信（11・製）〉…………… 9  
炭鉱の島（端島）の繁栄～支えた朝鮮人・中国人労働者～〈西中須 盈（11・増）〉 12

### 支部だより

- 福岡支部〈福岡支部長 内田 純近（15・増）〉…………… 16  
鹿児島支部〈鹿児島支部長 田辺 庄太（13・漁）〉…………… 17  
関門支部〈関門支部長 猪立山 均（17・増）〉…………… 18

### 職場だより

- 愛知県立三谷水産高等学校〈祖父江 弘次（32・漁）〉…………… 19

卒業生・修了生・新入生をよろしく…………… 21

編集後記…………… 28

---

### （表紙写真）頭ヶ島教会堂（国指定重要文化財〈建造物〉）

1859年（安政6）10月、無人島であった頭島（かしらじま）に鯛之浦のキリシタンが移住してきた。明治41年頃、新聖堂建設に着工、深い信仰で結ばれた信者たちによって1919年（大正8）に造られた（落成）。西日本で唯一の石造り教会。全体が地元の砂岩でできており、内部は鉄川与助による代表的な船底天井。2001年（平成13）11月14日、重要文化財に指定。

—新上五島町・有川—



## 「鶴友第79号」の 発刊によせて

鶴水会会長  
秦 章男

謹啓 盛夏の候を迎えて、会員皆様にはご健勝にて、職務にまた余暇の利用にご清励のことと存じます。

ご存知のように、アメリカ発のサブプライムローンに起因する金融不安に端を発して、世界的には自動車産業を中心とした製造業等の不振は、非正規就業者の解雇など、極めて憂慮すべき社会不安をもたらしております。

一日も早く、この経済不況を脱することが出来る日を待ちわびているのは、世界の人々の共通した想いであると存じます。

さて「長崎大学全学同窓会」のことについては、先の「鶴友」でご紹介しましたように、母校長崎大学は平成16年度から国立大学法人として生まれ変わり、国に依存した組織から脱却し、自主自律的な社会的存在として、確かな歩みを始めています。

母校が個性輝く大学として発展するよう、全学同窓会は大きな期待をもって見守り、また可能な限り支援をおこなっていかねばなりません。

このため本年3月7日国立科学博物館で、東京在住の医学部、経済学部、薬学部、水産学部の同窓生（全学同窓会で200名超、鶴水会関東支部から43名の出席）が集まり、東京

での懇親会等を開催したところです。

本年度は長崎で懇親会等を開催することが予定されております。

長崎での全学同窓会懇親会等には、多数の鶴水会会員の参加をお願いすることとなりますが、おってご連絡したいと思っておりますので、その節はよろしく申し上げます。

また長崎大学全学同窓会では、全学同窓会と学部同窓会の連絡調整を図るために「幹事会」を設置することにしており、鶴水会から取り合えず「高山久明先生」を推薦させていただいております。

このように学部同窓会の発展を期待することは当然のこととして、前述の趣旨にもとづき、全学同窓会が設置されたことにご留意いただき、双方のご支援を重ねてお願いするものであります。

終わりに、会員皆様のご健勝、ご健康をお祈りし合わせて全国各地域での更なるご活躍を心から期待申し上げる次第でございます。



全学同窓会での秦会長(東京)



## 最近の入学と卒業の状況

水産学部長  
片岡 千賀之

今回は、最近の水産学部の入学と卒業の状況についてふれたいと思います。

### (1) 入学状況

水産学部の入学定員は110名で、入試方法にはAO（アドミッションオフィス）入試、推薦入試、一般入試の前期日程と後期日程があります（なお、今年度実施する平成22年度入試についてはAO入試と推薦入試に変更がありますので、関係者ご注意ください）。その他に帰国子女、私費外国人留学生の入試がありますが、入学実績はほとんどありません。志願倍率は、他学部と比べると高い方ですが、全体として漸減傾向にあります。

入学者の約3分の1が女子で、年によっては女子が4割を超えることもあります。出身地は約3分の1が長崎県内、約3分の1が長崎県を除く九州圏内、約3分の1が九州以外となっています。水産学部は全国に少ない学部なので、ほどほどに「全国区」であり、ほどほどに各地の文化、方言が行き交っています。今年度は経済不況の影響と思われるが、浪人生が増えたこと、合格を辞退する学生が減ったことが特徴です。

近年、学生の学力低下がしばしば指摘されています。少子化が進む一方、大学進学

率が上昇したことや、ゆとり教育の影響とみられます。補習や基礎教育の充実で対応していくつもりですが、水産学部の学生は純朴な学生が多いので、伸びしろも大きいと思っています。

### (2) 卒業と就職

卒業生のうち1割近くが留年した学生です。留年率は学部によって大きく異なりますが、水産学部のそれは目立つほどではありません。学部の規模が小さく、少人数教育、助言教員制度などを取り入れているからだと思います。昨年度の就職率は95%で、前年度より高くなりました。就職活動の時期が不況の前だったせいだと思います。反対に、今年度の就職活動状況は非常に厳しいものがあります。

就職先は例年、公務員、食品、医薬品、水産会社、水産団体、小売業、卸売業、環境アセスメント、情報産業、など幅広いのですが、人材派遣業が姿を消し、公共事業が減って環境アセスメント分野が減少し、旺盛な受注を抱えている造船業が伸び、食品分野が比較的堅調と、これまた世相を反映しています。長崎大学の学生は、地方大学で就職活動の取り組みが遅いうえに、面接でも自己PRが弱いといわれています。水産学部生はプレゼンテーション能力が高いので、その能力を発揮できるよう、同窓会の皆さんには、お力添え下さるようお願い致します。

卒業生の約3分の1が大学院（生産科学研究科博士前期課程水産学専攻）に進学しています。大学院については省略します。



## 第40回鴻洋祭を終えて

平成21年度学友会会長 新名 真也（3年・海洋応用生物化学コース）

去る5月30日（土）～31（日）の2日間の日程で、第40回鴻洋祭を開催しました。本年度は“快漕（かいそう）”をテーマに掲げ、「広い海原に漕ぎ出し始めた時の爽快感を感じるように、ご来場いただいた皆様に鴻洋祭を楽しんで頂きたい。そして、鴻洋祭を通して水産学部の面白さを感じて頂きたい。」という気持ちで活動して参りました。その結果、天候に恵まれたこともあり、連日多くのお客様に足を運んで頂くことができました。

中でも毎年地域のお客様に好評の企画・実験では、昨年衛生面を危惧し行われなかった「ハマチの解体ショー」が復活し、お客様に新鮮な長崎のハマチが刺身として振舞われました。又、「水族館」では空き缶等を沈めた水槽を展示することで楽しみながら環境について考えて頂くような工夫を凝らしてみました。

その他各種イベントや水産購買部も例年通り好評で、「探検！水産学部」では橋勝康先生、桑野和可先生に加え、新任の和田実先生の3人の先生方にご協力頂きました。

このように水産ならではのイベントを多く取り入れ、大成功を収めることができたと思っておりますが、やはり皆様のお力添えあつてのことと感謝する場面が多々ありました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。今年度の鴻洋祭は11月から5月に移動し、2年目となりました。まだ運営において不慣れな場面があり、皆様にご心配やご迷惑をお掛けすることになると思いますが、今後も全身全霊を込めて活動してまいりますので、厚かましいとは思いますが、是非、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。



第40回鴻洋祭をアピールする立て看板



海の動物の生態について子どもたちに説明する水産学部生



本部ではイベントマップをつくり祭りの案内を行った



祭りを盛り上げてくれたチアリーリング

## 第53回全日本カッター競技大会結果報告

水産海事情報学研究室 端艇部顧問 高山 久明 (23・漁)

平成21年5月16日(土)、広島県呉市の海上保安大学校にて第53回全日本カッター競技大会が開催されました。一般レースに出場した長大男子クルーは、予選は防衛大学校に敗れ2位、敗者復活レースに廻り、ここで神戸大学に敗れ2位で決勝進出ならず、総合第6位となりました。一方の女子レースに出場した女子端艇部は、予選は館山海上技術学校(高校生クラス)に競り勝ち(約7秒差)決勝へ、決勝では九州看護福祉大学に大差(約17秒差)で勝ち、2年振り3度目の全日本優勝を果たしました。

長大の男子クルーは、クルーの主力が2年次生(漕ぎ手12人中9人)で3年次生が少なかったこと、1年次の新人戦では優勝したもののやはり全日本の壁は厚く、予選の防衛大学校に敗れたことで精神的にも参ってしまい

大村湾時津レースでの11分18秒の勢いもそがれ、予選に続く敗者復活戦では、予選を約1分も下回る結果でした。これらを通して精神的タフさの養成のほか、船速アップにつながる漕法の改良および回頭法の技術習熟などが今後の課題となりました。女子部の報告は、以下の3年次クルーの報告に示しますので省略します。なお、会場には、22期高本氏、26期越智氏、35期高木氏、54期平田女史ほかこの3月卒業した谷氏、田房女史と学部院生、4年次生など多数応援に駆けつけていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。来年5月の第54回全日本大会は、東京又は横須賀(防衛大学校主催?)で、今秋の新人戦は、11月3日、下関の水産大学校で開催予定です。お近くの方は、ご来場のうえ応援のほど宜しくお願い申し上げます。

### 長大女子端艇部全日本 2年振り3度目の優勝を果たす

艇指揮 橋口 侑美 (3年・海洋応用生物化学コース)

5月16日(日)に、第53回全日本カッター競技大会が広島県呉市海上保安大学校前海域において開催されました。出場校は九州看護福祉大学(九看)、神戸大学、水産大学校、東京海洋大学海洋工学部、長大、三重大学とオープン参加の国立館山海上技術学校(館山)を含めた7校でした。

天気は雨が心配されましたが波・風ともなく、暑くも寒くもない最高のコンディションでした。予選の対戦相手は、館山でした。レース開始後、長大が館山の前を行きましたが、中盤から後半に何度か追いつかれつつも、長大の粘りで館山より先にゴールし、決勝へと進みました。

決勝は、九看、長大、三重大、の3校で行われました。長大は得意としていたスタートダッシュがうまくいき、他の2艇よりはるかに前を行きました。そしてそのままの勢いでゴールしました。優勝した瞬間、今までの辛く長かった日々が思い出されたと同時に今まで頑張ってきて本当によかったという気持ちでいっぱいになりました。

今回の大会を迎えるまで、クルーの気持ちの一つになれなくて、時にぶつかりあったりしました。でもその度に納得出来るまで話し

合い、互いの絆を深めることが出来たと思います。無事こうして大会に臨むことができ、また優勝という輝かしい成績を納めることが出来たのも、高山先生をはじめとする助言してくださった先輩方、応援してくださった多くの方々の助けがあったからだと思います。6月からは新メンバーで新たに活動を開始しました。目標を新たにみんなで頑張っていきたいと思いますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いします。



女子端艇部歓喜の優勝躍立(呉:海上保安大学校校舎前面海域にて)



敗者復活戦に向け海保大ポンツーンから出艇する長大クルー



# 第53回 全日本カッター競技大会結果

平成21年5月16日(土) 海上保安大学校主管  
 会場:海上保安大学校前面海域 天気:全天曇のち時々小雨  
 海況:Calm～北の風のち南風、風力2-3

| 時刻    | 種目            | コース | 校名       | 艇   | 着順 | タイム(分-秒) | 備考       |
|-------|---------------|-----|----------|-----|----|----------|----------|
| 10:00 | 一般予選<br>第1レース | 1   | 水産大学校    | 6   | 3  | 13-29.69 | 男子敗復へ    |
|       |               | 2   | 東海大学     | 4   | 5  | 12-04.89 | 男子準決へ    |
|       |               | 3   | 京都海洋高校   | 3   | 2  | 13-01.50 | 男子敗復へ    |
|       |               | 4   | 海上保安学校   | 5   | 4  | 13-54.58 | 男子準決へ    |
|       |               | 5   | 東京海洋大工学部 | 2   | 1  | 12-15.68 | 男子決勝へ    |
| 10:45 | 女子予選<br>第1レース | 1   | 東京海洋大工学部 | (1) | 3  | 08-58.53 | 女子6位     |
|       |               | 2   | 水産大学校    | (2) | 2  | 08-50.31 | 女子準決へ    |
|       |               | 3   | 三重大      | (3) | 1  | 08-36.80 | 女子決勝へ    |
| 11:10 | 一般予選<br>第2レース | 1   | 防衛大学校    | 3   | 1  | 12-17.78 | 男子決勝へ    |
|       |               | 2   | 広島商船高専   | 2   | 3  | 13-49.59 | 男子敗復へ    |
|       |               | 3   | 長崎大      | 6   | 2  | 12-32.14 | 男子敗復へ    |
|       |               | 4   | 日大       | 4   | 4  | 16-59.37 | 男子準決へ    |
| 11:40 | 女子予選<br>第2レース | 1   | 神戸大      | (1) | 2  | 08-39.13 | 女子準決へ    |
|       |               | 2   | 九州看護福祉大  | (3) | 1  | 08-05.71 | 女子決勝へ    |
| 12:05 | 一般予選<br>第3レース | 1   | 海上保安大学校  | 3   | 2  | 12-09.41 | 男子決勝へ    |
|       |               | 2   | 神戸大      | 4   | 3  | 13-00.80 | 男子敗復へ    |
|       |               | 3   | 三重大      | 5   | 4  | 15-09.00 | 男子準決へ    |
|       |               | 4   | 東京海洋大科学部 | 2   | 1  | 11-53.94 | 男子決勝へ    |
| 12:40 | 女子予選<br>第3レース | 1   | 長崎大      | (3) | 1  | 08-06.00 | 女子決勝へ    |
|       |               | 2   | 館山海上技術学校 | (1) | 2  | 08-13.33 | 女子準決へ    |
| 13:50 | 一般敗者<br>復活レース | 1   | 長崎大      | 2   | 2  | 13-26.13 | 6位       |
|       |               | 2   | 広島商船高専   | 6   | 5  | 14-12.01 | 8位       |
|       |               | 3   | 神戸大      | 3   | 1  | 13-00.88 | 男子決勝へ    |
|       |               | 4   | 水産大学校    | 4   | 4  | 13-54.63 | 7位       |
|       |               | 5   | 京都海洋高校   | 5   | 3  | 13-46.92 | (男子オープン) |
| 14:20 | 女子順位<br>決定レース | 1   | 神戸大      | (3) | 1  | 08-12.07 | 女子4位     |
|       |               | 2   | 館山海上技術学校 | (1) | 3  | 08-37.22 | (女子オープン) |
|       |               | 3   | 水産大学校    | (2) | 2  | 08-31.07 | 女子5位     |
| 14:40 | 一般順位<br>決定レース | 1   | 三重大      | 4   | 3  | 16-27.69 | 10位      |
|       |               | 2   | 東海大学     | 5   | 2  | 14-46.24 | 9位       |
|       |               | 3   | 海上保安学校   | 6   | 1  | 14-05.67 | (男子オープン) |
|       |               | 4   | 日大       | 3   | 4  | 16-57.71 | 11位      |
| 15:10 | 女子<br>決勝レース   | 1   | 三重大      | (2) | 3  | 09-18.07 | 女子3位     |
|       |               | 2   | 九州看護福祉大  | (3) | 2  | 08-26.61 | 女子2位     |
|       |               | 3   | 長崎大      | (1) | 1  | 08-09.59 | 女子優勝     |
| 15:30 | 一般決勝<br>レース   | 1   | 神戸大      | 6   | 5  | 12-52.29 | 5位       |
|       |               | 2   | 東京海洋大科学部 | 3   | 1  | 11-51.44 | 優勝       |
|       |               | 3   | 防衛大学校    | 2   | 2  | 11-57.69 | 2位       |
|       |               | 4   | 東京海洋大工学部 | 4   | 4  | 12-23.38 | 4位       |
|       |               | 5   | 海上保安大学校  | 5   | 2  | 11-57.69 | 2位       |

女子レース 片道1000m 艇:(1)・(2)・(3)号艇・・・6m艇  
 男子レース 片道1000m往復の2000m 2・3・4・5・6号艇・・・・・・9m艇

結果:長崎大学は女子は優勝(2年ぶり3度目)、男子は予選・敗復も2位で総合6位となりました。



定期潜水(弁天白浜)

海洋研究会は1968年に潜水部として発足してから、今年で41年目を迎えます。私達は毎週土曜日、弁天白浜でスキューバダイビング及び年に数回のスキューバダイビングを行っています。長崎の海はとても綺麗で、毎週楽しく潜っています。ダイビングは楽しいスポーツですが、多くの危険があります。そのため、海洋研究会では毎週の潜水訓練を行うとともに、週3回の早朝の陸上トレーニングで基礎的な体力づくり、危険生物勉強会、天気図勉強会、スキューバ理論勉強会を行い、安全にダイビングを行うために努力しています。

また、春には野母崎、夏には沖縄で合宿を行い、ダイビングスキルを磨き、普段は見ない生物を多く見ることによって生物の知識を向上させています。沖縄の合宿では、ダイビングを通して魚の行動観察や生物の分布様式などの研究活動も行っています。また、合宿では集団生活をする中で、会員同士がそれぞれの個性を見出し、絆を深めることができます。



合宿でのスキューバダイビング

しかし、活動を行う上で気になることもあります。それは、海中や砂浜に落ちている数多くのゴミです。空き缶やペットボトル、花火のゴミ、釣り針など様々なゴミが落ちています。毎週、潜水後に砂浜のゴミ拾いをしますが、いつも拾ったゴミでゴミ袋がいっぱいになり、残念な気持ちになります。海を利用する多くの方々が自然環境について考え、マナーを守れるようになって欲しいと思います。海洋研究会では自然環境を守るため、学友会が行う海浜清掃や漁港内の海中清掃など、ボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

これからも安全に楽しく活動するため、精一杯努力して参りますので、OB・OGの皆様方、今後とも海洋研究会の活動へのご理解、ご協力のほど、宜しくお願い致します。



潜水後のゴミ拾い



早朝の陸上トレーニング

### 「城下(しろした)かれい」とは

上城 義信 (11・製)

鶴友諸兄には相変わらずご健勝にて活躍のことと拝察申し上げます。

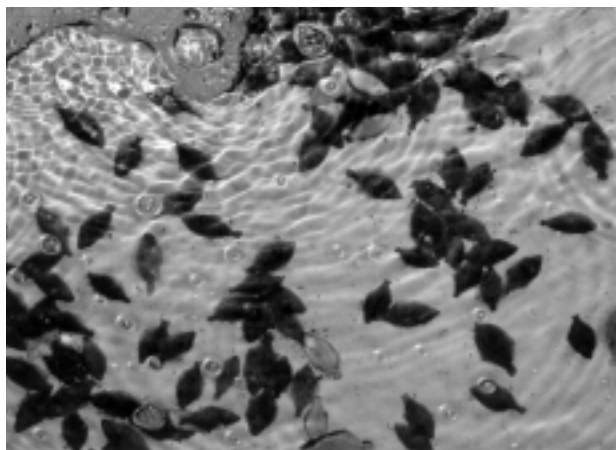
さてこの度、鶴友79号の発刊にあたり、わが大分県安部支部長から、支部便りの執筆を頼まれ、考え抜いた末に、今、私が携わっている「城下(しろした)かれい」に登場してもらうことにしました。

こちらで「城下かれい」と呼んでいるのは、標準和名のマコガレイです。本来、北方系の魚種で、北海道から大分県別府湾を南限に国内各地の沿岸に棲むカレイ科の一種です。

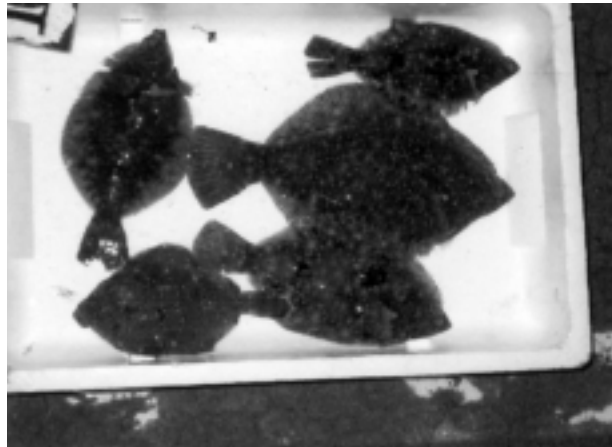
お値段は、高いところの東京築地市場でもせいぜいkg当たりの単価は1,000円ほどで、平均相場は500円/kgがいいところです。

ところが何故か、ここ別府湾の一角、日出町沖で捕れたものだけに、四季を通してkg当たりの単価が8,000~10,000円で取引されています。

大分市内の老舗百貨店地下食品売り場を覗いても、最近売り出し中の「関アジ・サバ」よりも常に上位にあり、いわば大分の顔となっています。



育成中のマコガレイ稚魚



天下の美味「城下かれい」

なぜ、この「城下かれい」がこのように有名になったかと申しますと、かれい料理が始まったのは江戸時代の西暦1700年代の当初とされていますが、文献に出てくるのは、1806年(文化4年)、日出藩出身の学者脇蘭室が著した「函海(たんかい)漁談」です。

これには江戸の将軍へ献上品として、端午の節句(旧暦5月5日)に船と早馬を乗り継いで運んだことが記されています。

大正9年には、現在俳句の開祖とも云われる高浜虚子(愛媛県生まれ)が、句会に招かれ「海中に 真清水(ましみず)湧きて 魚育つ」と詠み、一躍脚光を浴びました。

そして戦前の昭和11年~12年、我が国料理本の原点とも云われる木下謙次郎著「美味求真」が中央公論社から出版され、「城下かれい」が天下の美味として紹介されました。

これを読んだ多くの文人や文化人たちが日出町を訪れました。

こうした人々に、料理を提供した料亭や料理屋は、戦前からある料亭「月乃家」をはじめ、戦後は、現天皇陛下や各皇族方が立ち寄

られた「的山荘」、その他最寄駅周辺には「幸喜屋」、「能良玄家（のらくらや）」、「帯刀の荘」などの専門店が数軒あります。

また役場でも、こうした貴重な海の恵みできるだけ多くの人々に味わってもらおうと1986年（昭和61年）から「城下かれい祭り」を毎年5月に開催しており、全国から城下かれいの懐石料理を食べにやってきます。今年で24回目になります。

このほか城下かれいは、戦後、多くの出版物にも紹介され、松本清張や池波正太郎などの著名作家の作品にもたびたび登場しています。

うまいもの紹介本では、多田鉄之助著「たべもの百貨」、秋山徳三著「味の散歩」、土屋実著「味覚旅行」などがあります。



日出陽谷城下海岸

昭和40年代～50年代には全国版の新聞、週刊誌にはくり返し掲載され、テレビ電波にも乗って、全国に「城下かれい」の名前が知れ渡りました。

一方、漁獲量の実態をみますと、大正8年（1919年）に約10トン、昭和8年（1933年）の統計でも10トンとあります。

しかしながら平成になっての漁獲量は、2～3トンときわめて低いレベルで推移していて、今では全国の城下かれいファンの期待に対応できるものではありません。

もちろん稚魚の放流は、昭和40年代から続けておりますが、その生産量はきわめて危機的状況にあります。

こうした現状を何とかしたいという町民あがての要望もあり、まずは放流した稚魚の生存率をあげるため、隠れ場の提供と餌の保障を考えました。

そしてかつて海岸一体に繁茂していたアマモ場づくりに着手しました。現地に僅かに残るアマモ場から母草を採集して、花枝から一粒づつ種をとり、それを保存し、蒔いて発芽、生長させ、漁場へ移植するという遠大な計画です。



城下かれい

初年度は、3,000粒の種子から272本が発芽しました。発芽率は、10%にも達しませんが、私自身には多くの得るものがあり、将来に向けて、さらなる意欲を燃やしています。

そして心強いことに、マコガレイの稚魚づくりは、（社）漁業公社国東事業所で行っていて、場長 平嶋豁（ひろし）氏（15・増）と生産課長 松本啓志氏（26・開）の両名が頑張っていますし、アマモ場の再生では、伊藤 龍星氏（34・生）の協力・指導など心強い支援もあります。



以上、「城下かれい」の概要について、お話ししましたが、ぜひ別府温泉旅行のついでにお立ち寄り願えれば幸いです。



城下かれいを守るアマモ

山海の味、人々の日出の町

# 城下かれい祭り

第二十四回の日町出

2009 5/9(土)・10(日)

鴨谷城址周辺  
日田小学校グラウンド

限定特別コース

TEL:0877-73-3158

### 炭鉱の島(端島)の繁栄 ～支えた朝鮮人・中国人労働者～

西中須 盈 (11・増)



端島(通称・軍艦島)が1974年に閉山して、無人島になっていました。今年の1月、世界遺産暫定リストに掲載された「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産の1つとして取り上げられ脚光をあびるようになりました。

長崎市は昨年から島に上陸できるよう整備、今年の4月22日から上陸可能になりました。新聞報道によると1ヶ月間で上陸した観光客は約6000人(5月31日現在)に達し、長崎市が見込んだ年間2万5千人の約25%近くにのぼり、順調な滑り出しとなっています。運行会社の「やまさ海運」によると、全国から問い合わせがあり、7月末までは、土・日予約は満席だそうです。

「端島」(軍艦島)は長崎半島から西に約4.5km、長崎港から南西に約19kmに位置し、周囲1200m、面積約63000㎡という小さな海底炭鉱の島で、堀が島全体を囲い、高層鉄筋アパートが立ち並ぶその外観が軍艦「土佐」に似ていることから「軍艦島」と呼ばれるよ

うになりました。

端島での石炭発見は1810年頃(高島は1695年発見)で、当時は草木のない水成岩の瀬にすぎませんでした。炭鉱としては1883年、佐賀藩の深堀領主鍋島氏が採掘を始め、小規模な採炭を行っていましたが、1890年三菱合資会社(三菱財閥)の経営(10万円で買収)となりました。

本格的な海底炭鉱として操業。出炭量が増加するにつれ人口も増加。狭い島で多くの人々が生活するため、1916年には日本初の鉄筋コンクリート造りの高層集合住宅が建設され、明治期には人口はすでに2800人に達していました。1941年(昭和16年)には年間出炭量は41万1100トンと最高記録を達成。戦時中で労働者不足を朝鮮人や中国人を拉致、強制連行し、強制労働させています。人口の最盛期は1945年(昭和20年)、5300人の人々が暮していました。(人口密度は当時の東京都の9倍。世界一)



1901年頃



1959年頃

産出される良質の石炭は明治以降日本の近代化を推し進める原動力となり、戦後は経済復興を支える役割を担わされてきました。しかし、そこには経済第一主義の下、過酷な労働環境の中で働く朝鮮人・中国人労働者の姿がありました。国策として多くの人々が朝鮮半島や中国大陸から「募集」の名目で開始され、強制連行されて国内の炭鉱に従事させられ、1944年（昭和19年）からは徴用令を使って「朝鮮人狩り」を強行、狭い部屋に7～8人押し込められ、日照も無く、湿気も甚大で劣悪でした。食事は豆かす80%玄米20%のめしと鰯を丸炊して潰したもので、毎日腹を空かしていたのです。



労働は地中深く狭い坑道で落盤の危険と隣り合わせで作業する、それが「監獄島（端島の別称）」の生活でした。今、脚光をあびている端島（軍艦島）ですが、中国人や朝鮮の



硬（ボタ）の搬出

人々が酷使され、傷つき、亡くなって行った事実を知り、未だ終わらない戦争責任と戦後補償へ思いを巡らせてほしいと思います。敗戦前後の端島で強制労働させられた朝鮮人及び中国人捕虜達は約750名（朝鮮人500名、中国人250名）と推定されています。

戦後も経済復興を支え採炭が続けられましたが、国のエネルギー政策（石炭から石油へ）により、出炭量も人口も減少し、ついに1974年1月閉山。（閉山時の人口2200人）4月から無人島になりました。

私の知人、徐正雨さんの証言を掲載します。徐さんは生前私が現職（高校教諭）の時、何度か端島での体験や被爆体験を聞きました。徐さんは戦後も強制連行・強制労働や被爆体験を高校生・中学生に証言する語り部として長崎で活躍され、2001年8月2日亡くなりました。（享年73歳）



▲修学旅行生に語る

## 〈証言： “監獄の島” 端島炭鉱に連行されて〉

ソ ジョンウ  
徐 正雨 (54歳・男)

1928 (昭和3) 年10月2日生

長崎市緑が丘町220番地 証言日 1983年7月3日および同7月9日（端島にて）

私は慶尚南道宜寧郡宜寧面の小農の家に長男として生まれましたが、昭和7、8年頃、父母が私を残して名古屋へ渡日したため、祖父に養育されました。祖父は学のある人で、

家庭教師のように私に勉強を教えてくださいました。財産はあったのですが、伯父、つまり父の兄が浪費して食いつぶし、祖父は私が7、8歳のとき、失意のうちに世を去りました。しか

し私のことは自分の弟に面倒を託していましたので、祖父の死後、私はそこに預けられ、下働きの毎日を送りました。山に薪を取りに行ったり、朝、牛をつれて家を出ますと、昼ごはんを食べずに夕方帰ってくるような毎日でした。牛の草とりも、10歳にもならない私にはつらい仕事でした。米は供出、供出で、日朝結託の警察の目は厳重で、おいしいことで有名なあの朝鮮米はみな供出させられて、自分たちは麦やソバ粉ばかり食べていました。飛行機の油にするとかで、松脂も取らされました。ノルマがあるので、松の木を掘って懸命に取りました。

おじさん（祖父の弟）は体が弱く、仕事が十分にできないで、私の成長につれて、私を頼りにしてくれました。私が17歳になったら結婚させると言っていました。ところが忘れもしません、14歳のときです。面（村）役場から徴用の赤紙がきて、私は日本に連行されたのです。徴用といっても、突然の強制であり、手当たり次第の強制連行と同じです。お分かりでしょう、14歳といえば、今の中学2年生ですよ。おじさんは、仕事手がなくなるので強く反対しましたが、相手は問答無用でした。私の村からは2名でしたが、強制的にトラックに乗せられ、市役所に着くと、14～5歳から20歳ぐらいの青年が何千人も集められていました。旅館に一泊し、翌朝、トラックを何台も何台も連ねて、長崎から諫早ぐらいの距離を歩き、そこからは汽車で釜山へ運ばれ、連絡船で下関に着きました。そして夜行列車で長崎へは到着しましたが、ここに連れて来られたのは300人ほどで、その全員が大波止から終着地の端島へと送られたのです。

私は名古屋の父母だけでなく、佐世保にも親戚がありましたので、日本のどこかに行かされても、機会をみて逃亡するつもりでした。

けれども端島に着くや、すっかり希望を失いました。

ごらんとおり、島は高いコンクリートの絶壁に囲まれています。見えるのは海、海、海、ばかりです。こんな小さな島に、九階建ての高層ビルがひしめいています。驚きました。ここは抗口とは反対側の島の端っこですが、これらの高層アパートは当時からありました。私たち朝鮮人は、この角の隅の2階建てと4階建ての建物に入れられました。1人1畳にも満たない狭い部屋に7、8人いっしょでした。外見はモルタルや鉄筋ですが、中はボロボロでした。私が入られたのは、ここです。この室番B102とあるこの部屋です。今、見ると戦後、炭鉱の診療所の病室になったんですねえ。それも今は廃墟で……。私たちは糠米袋のような服を与えられて、到着の翌日から働かされました。日本刀をさげた者や、さげない者があれこれと命令しました。

この海の下が炭坑です。エレベーターで立坑を地中深く降り、下は石炭がどんどん運ばれて広いものですが、掘さく場となると、うつぶせで掘るしかない狭さで、暑くて、苦しくて、疲労のあまり眠くなり、ガスもたまりますし、それに一方では落盤の危険もあるしで、このままでは生きて帰れないと思いました。落盤で月に4、5人は死んでいたでしょう。今のような、安全を考えた炭坑では全然ないんですよ。死人は端島のそばの中ノ島で焼かれました。今も、そのときのカマがあるはずですよ。こんな重労働に、食事は豆カス80%、玄米20%のめしと、鯛を丸だきにして潰したものがおかずで、私は毎日のように下痢して、激しく衰弱しました。それでも仕事を休もうものなら、監督が来て、ほら、そこの診療所が当時は管理事務所でしたから、そこへ連れて行って、リンチを受けました。どんなにき



つくても「はい、働きに行きます。」と言うまで殴られました。「勝手はデキン。」と何度聞かされたことでしょう。端島の道は一本道だけです。この一本道を毎日通いながら、堤防の上から遠く朝鮮の方を見て、何度海に飛び込んで死のうと思ったか知れません。どうですか、この白く砕ける波、あのころと少しも違います。仲間のうち自殺した者や、高浜へ泳いで逃げようとして溺れ死んだ者など、40~50人はいます。私は泳げません。しかし、何か運があったんでしょうね、5ヵ月後に、私は長崎市にある三菱の幸町寮に移動を命じられ、島を脱出することになりました。あのまま残っていたら、本当に生きてはいないと思います。島にいた同胞の数は、私たちより先に既に200人ばかりいましたから、合計で5~600だったでしょう。上下各5室の2階屋一棟と、各階5、6室の4階建て4棟に詰め込まれていました。あの同胞たちのことを思うと、いつまでも胸がしめつけられる思いがします。軍艦島なんていっていますが、私に言わせれば、絶対に逃げられない監獄島です。

陸の長崎に来た私は、今度こそ逃げられると思いき、嬉しくてたまりませんでした。仕事はカシメを打つ重労働でしたが、食事は端島とは段違いで、白米に馬肉、鯨肉も出ました。しかし、朝7時半ごろ、1列に並ばせられて幸町寮から造船所に向かう途中は、前後左右に憲兵がつき、列をはみ出す者は容赦なく蹴りますし、塀に囲まれた寮内は監視がぐるぐる回り、とても逃げられる状態ではありませんでした。その点を除けば、隣のレンガ造りの寮には外国人捕虜がいて、言葉が通じないので話はしませんが、何となく気持の通じるものがあり、また仲間も大体同じ歳ごろで、手づくりの花札をやったり、風呂場で暴れあ

ったりで楽しいこともありました。風呂当番、食事当番を決めて助け合いました。今もよく思い出します。けれども、カシメ打ちは本当にきつい仕事です。冬は何とかなりますが、夏は火を使うので耐えきれない労働です。仲間の中にはとうとう食欲がなくなり、衰弱し、栄養失調で竹の久保病院へ入院した者や、そこで死亡した者も数多くいます。そうですね、80人くらいは入院したでしょう。職場では休み時間には丘の上で体操をするのですが、NHKの体操みたいなもので、この仕方が悪いとまた殴る、蹴るのリンチを受けました。仕事はきついし、若いときですから眠い一心でしたが、次第に空襲が激しくなり、焼夷弾、サイレント、そのたび防空壕に出たり入ったりで、ただでさえ眠いときに叩き起こされて、腹が立ちました。逃げよう、逃げようと思いつつ果たせないうちに、とうとう8月9日を迎えました。



1986年7月25日「長崎新聞」

## 福岡支部

福岡支部長 内田 純近 (15・増)

### 支部長の役得??

目を背けて見まいとして机上に放置していた、「鶴友」への寄稿依頼文を、無視できない気の弱い66歳男は支部長を引き受けている責任として、シブシブと拙い文章を起稿することにした。

支部報告ももう書くことがなくなってきた。色々書き尽くしたがまだ初期の目標を達成できていない支部の状況について、このまま稿を進めると筆が走りすぎる危険がある。日本海溝にシュノーケルで潜っているようなものだ。ボートで漕ぎ出すようなものだ。この際、視点を変えて05年に支部長を引き受けてみて、なにか役得がなかったか・・・について考えてみよう。前向きに現状を見れば、いい知恵が湧いてくるかもしれない・・・。そんなに役得があるのなら、支部長を引き受けようという同窓生が全国に輩出して各支部活動が活発になるかもしれない。・・・かもね?

### 第1点 各分野で活躍しておられる同窓生諸君にエネルギーをもらった

仕事のできる人はなにごとにも積極的であり、エネルギーギッシュである。現役諸君のエネルギーを感じて年をとるのを忘れていた。自分の仕事が忙しいにもかかわらず支部活動に一生懸命な鶴友諸兄にはエネルギーが溢れている。考えてみれば、05年時点では朝出勤していくお隣のご主人を見ながら自己嫌悪を感じていた。現役として働けない寂しさに打

ちのめされている自分がいた。それが、福岡支部の諸君、大分支部の先輩諸兄・後輩諸君とつきあうことによって前向きに生活できるようになった。

支部長を務めると年を重ねるのを忘れられますよ・・・。役得の第一である。

### 第2点 体力が回復した

05年時点では、現役を終える恐怖感から健康体に戻さねばと無理やりに始めた運動が逆効果になり、膝を痛めて正座ができなくなっていた。酒に明け暮れた現役時代の運動不足は年齢以上に体力を消耗していたのだった。その悲惨な状況が、・・・ナント・・・、現在はゴルフを2日続けてプレーできるまでに回復している。

2日続けてコースでのプレーなんて、小生のこれまでの人生では考えられないことである。それもこれも、福岡支部長として強者ぞろいの大分支部に無謀にも挑戦状をたたきつけて、こっぴどく敗れた結果がもたらした怪我の功名である。挑戦した時点での予測では、会員300名強を誇る大福岡支部なら、支部長の檄文に応じて腕に覚えの会員諸兄が続々と名乗りをあげていただけのものとの読みであった。ゴルフは亡国の遊びと嘯っていた素人支部長は夜の宴会だけ盛り上がりよとの読みだった。浅薄支部長の時代があった檄文(鶴友・75号)にもかかわらず、参加人員不足で自らプレーせざるをえなくなった。結果は実力どおりの130台のスコアでした。高い

レベルで競い合う大分支部のコンペをぶち壊す闖入者の乱入だった。これに懲りて参加を見合わせようと考えたが、福岡支部の諸兄、大分支部メンバーの暖かい声援を受けて奮起した。それからゴルフスクールに入って練習を始めた成果が現在まで続いているのである。幸い(?)なことに腰に持病(ギックリ腰)をもつ身、いまだに再発がこわくて思い切っで打てない。少しも上手にならない結果として練習量が増えて体力がついたという次第である。永遠に100を切れなくてよい。同期の三重野、福岡両君の後塵を拝するばかりでよ

い。体力が回復したのだから……。役得の第二である。

### 最後に、報告させていただきます。

5月16日(土)に福岡支部の段取りで福岡・大分合同コンペを開催できるようになったことを報告させていただきます。福岡支部の参加者も10名を越えるまでになったと、幹事の重野氏(22回・食)からの報告があり、自分の仕事が忙しいなかで奮闘してくれている後輩諸君の愛校心に感激している次第です。

## 鹿児島支部

鹿児島支部長 田辺 庄太(13・漁)

鹿児島も夏が来たような気候で毎日、暑さと紫外線に悩まされています。

さて、鹿児島支部ではさる二月七日に平成二十年度の総会を開き、年度報告と簡単な挨拶のあと、親睦会を開催しました。今年は株式会社maruha nichiro水産、(株)桜島養魚の草野 孝君(20期 増殖)と同じく桜島養魚の渡辺 勤君(39期 海洋生産)が新しく加わり、総勢15名の参加で、支部長の音頭での乾杯のあと宴がはじまり、人それぞれ今ま

で以上の元気と強さを持って不景気をふっとばす勢いで、情報交換、やり取り、相談等をしたり、先輩が後輩に経験談をしたりと、これぞまさに水産健児のつながりの強さを垣間見たものであった。あまりの熱心な談話のあまり、時間を忘れ、気がついた時は22時近くでした。このあと二次会へとながれていきました。今後は奄美の様子も知りたいので計画を立ててみようと思います。



平成20年度鹿児島支部総会

### 関門支部長就任にあたって

近頃私は、長崎街道を長崎に向けて歩いています。好きなゴルフを続けるためにとウォーキングを思い立ち、歩くならいっその事、長崎まで歩いて帰ろうと考えたのが事の始まりです。長崎での4年間は何事にも換え難く、長崎には第二の故郷としての特別な思いがあります。学生生活や友の事などを思い起こしながら気ままな一人旅を楽しんでいます。

さて、関門支部の近況についてご報告します。前支部長の久保先輩(2期)には15年の長きに渡り支部長を続けて頂き、大変なご苦勞をお掛けしました。同窓会への出席率が悪い事を憂慮され、ゴルフなどの趣味の会を作っただろうか、他に良い案はないかと心を砕いておられました。しかし、妙案が出ないまま今日に至っています。先輩には心から感謝しますとともに厚くお礼申し上げます。

この度、多数の先輩方がおられる中、思いも掛けずに関門支部長を仰せ付かる事になりました。もとより微力ではありますが、新役員と力を合わせながら一生懸命頑張ろうと思っております。また、支部同窓生の皆さんにもご協力の程を切にお願いする次第です。

関門支部には現在127名の会員がいます。地区別には北九州地区が84名、行橋地区10名、下関地区33名となっています。この度の役員改選で各々の地区に副支部長と幹事を1名づつ置き、地区毎に連絡調整や取り纏めをして

頂くように体制を整えました。

各地区の副支部長と幹事はそれぞれ次のとおりです。北九州地区は吉田総次郎(28期)辰本誠一郎(43期、会計兼務)、行橋地区は舟津清(5期)小林信(24期)、下関地区は松浦光造(7期)道下勝(48期)です。

同窓会への出席率が悪い理由は、個人の考え方もあるでしょうが、総じて出席しても知った人がいなくて面白くないと云ったところだろうと思います。特に若い人たちにはそう感じる人が多いのではと思われれます。

しかし、私と同じように「長崎」に特別な思いを抱く同窓生は多いのではないのでしょうか。長崎にいた時期は違っても、20歳前後の多感な時期に同じ大学の同じ学部で青春を謳歌したという経験は皆が共有しています。そうした共通点を有する人たちが、時空を越えて年に一度一堂に会し、長崎に思いを馳せ、長崎を語るということは、長い人生の中で意義深い事と信じています。

「来易く、来て楽しく、また来よう」を目標にして新体制で臨みたいと思っています。鶴水会関門支部同窓生の皆さん、今回は是非出席して見て下さい。同窓生は心の底のどこかで繋がっており、何度か顔を合わせればドンドン親近感が深まって行きます。次に来る時は同期生や先輩・後輩を誘おう、と思って来て頂けるような関門支部にして行きたいと思っています。皆さんの力で、少しずつでも輪を拡げ、より強い輪にして行きましょう。





愛知県立三谷水産高等学校  
海洋科学科海洋漁業コース  
教諭

祖父江弘次 (32・魚)

### 【学校紹介】

昭和15年に水産技術者の養成を目的に愛知県水産試験場付設講習所として設立され、その後昭和23年に愛知県立三谷水産高等学校となりました。愛知県で唯一の水産高校として現在まで69年の歴史を重ね、この間に7,000名以上の卒業生を送り出しています。国内外で運航する大型船の船長・機関長から漁業・産業界で活躍される方など、水産・海運・通信業の中核を担う人材を輩出してきました。海・船・魚に興味・関心を持つ生徒が集まり、普通高校ではけっして体験することのできない魅力ある教育をすすめています。

現在は海洋科学科（海洋漁業コース・海洋工学コース）、情報通信科、海洋資源科（栽培漁業コース・海洋環境コース）、水産食品科が設置され、各科40名の定員で1学年160名です。

場所は、愛知県の南、三河湾に面した蒲郡市にあります。名古屋から電車で40分ほどです。近くには自動車で有名なトヨタ自動車の関連企業がたくさんあり、卒業生も多く就職しています。三河湾は知多半島や渥美半島に囲まれた穏やかな海面です。底引き網漁業、船引き網漁業、採貝漁業、釣り漁業、刺し網漁業などでアナゴ、シャコ、カレイ、車エビなど



豊富な魚介類を獲り、のりやうなぎの養殖も盛んです。小型船舶の操船実習や水泳訓練、カッター実習など多くの実習を行うのに適しています。三河湾に浮かぶ篠島、日間賀島、佐久島などからも多くの生徒が入学しており、寮から学校に通っています。4階の海洋漁業科海洋漁業コースの職員室からの三河湾の景色はすばらしく、毎日心がなごみます。

### 【部活動紹介】

本校には野球部、テニス部、バスケット部、陸上部、水泳部、柔道部、剣道部、卓球部など多くの部活動があります。また、カッター部やダイビング部など多くの海洋系の部活動も盛んに行われています。カッター部は昨年度、全国大会で優勝するなど活躍しています。またダイビング部も毎年入賞するなど頑張っています。

### 【近況報告】

私は昭和60年に長崎大学水産学部の特設専攻科を卒業し、貨物船の航海士として13ヶ月世界を周り帰ってくると会社が潰れておりました。海運、水産不況のまっただ中で乗る船

がなく途方に暮れていましたが、とりあえず予備校の河合塾に職員として就職しました。そこで若者と接することの楽しさや教育のやりがいを知りました。3年ほどして乗る船を探していたところ、たまたま中部運輸局の船員職業安定所に行くと三谷水産高校の練習船「愛知丸」で機関員を募集していました。担当の方がとても良い方で航海士ではダメかもしれないが一度電話をしてあげるとおっしゃってかけてもらったところ「愛知丸」の船長さんが出られ、甲板員として乗船することになりました。その後3等航海士、1等航海士を経て10年前には指導教官となり、2年前から海洋科学科海洋漁業コースの教諭として悪戦苦闘しています。大学在学中は教員になるつもりは全くなかった私が縁あって教壇に立っています。長崎大学の恩師で退官された中

根先生、現役の合田先生やお世話になった実習船の方々もあの祖父江が教員やって大丈夫か？との声が聞こえてきそうですが、本人が一番意外であり驚いております。本校ではずっと長崎大学水産学部出身の職員は私一人でしたが、本年度より平成17年卒業の吉川麻衣子先生が常勤講師として同じ海洋科学科海洋漁業コースに赴任されました。とても心強く思っています。

愛知県は工業県・商業県であり、三谷水産高校は厳しい状況が続いておりますが、なんとか頑張って水産を盛り上げていきたいと思っております。水産から多くのことを学び、なんとかこの歳まで頑張ってきた。水産に少しでも恩返しすべく立派な水産健児を育てていきたいと思っております。



カッター部全国大会優勝



「愛知丸」カツオー本釣り実習

名)/長菱エンジニアリング(1名)/日和山観光(株)(1名)/日本生命保険相互会社(1名)/日本ハム(株) 諫早プラント(1名)/日本紡績検査協会(1名)/ひぐちグループ(1名)/富士ソフトSSS(株)(1名)/松田産 業株式会社(1名)/マリンフーズ(株)(1名)/南九州ビバレッジサービス(株)(1名)/ヤマエ久野(株)(1名) /山口県庁(1名)/山崎製パン(株)(1名)/(有)エム・オー・プランニング(1名)/悠花食品(株)(1名)

## 大 学 院 生 産 科 学 研 究 科 修 了 生 (40名)

### 【進 学】

長崎大学大学院生産科学研究科(3名)

### 【就 職】

ニチレイロジグループ(2名)/味の素冷凍食品(株)(1名)/アリアケジャパン(株)(1名)/岩崎産業(株)(1名) /大島造船所(1名)/(株)アドヴィックス(1名)/(株)いであ(1名)/(株)ウオクニ(1名)/(株)オタフクソース(1 名)/(株)ギンビス(1名)/(株)建設技術研究所(1名)/(株)サン・ダイコー(1名)/(株)新日本科学(1名) /(株)成和化成(1名)/(株)ゼリア新薬工業(1名)/(株)天生水産(1名)/(株)東京久栄(1名)/(株)日 本クッカー(株)(1名)/(株)マルハニチロ水産(1名)/(株)横浜冷凍(1名)/キューピー(株)(1名)/協和商 工(株)(1名)/佐賀県庁(1名)/大学生協同組合九州事業連合(1名)/長崎県職員(水産職)(1名)/ 長崎船舶装備(株)(1名)/ニチバン(株)(1名)/日本クッカー(株)(1名)/日本冷凍食品検査協会(1名) /ハウスウェルネスフーズ(株)(1名)/廣川(株)(1名)/横浜冷凍(株)(1名)/荏原実業(株)(1名)

## 2009年度新入生 出身高校

【愛知】国府(1名)/【石川】金沢二水(1名)/【茨城】岩瀬日本大学(1名)/江戸川学園取手(1名)/【愛媛】 松山北(1名)/【大分】岩田(2名)/竹田(1名)/安心院(1名)/大分東明(1名)/【大阪】寝屋川(1名)/ 四天王寺(1名)/北野(1名)/大阪西陵(1名)/春日丘(1名)/【岡山】岡山一宮(1名)/【沖縄】糸満(1名) /【鹿児島】錦江湾(1名)/出水(1名)/鹿児島水産(1名)/【岐阜】大垣南(1名)/【京都】海洋(1名)/ 洛南(1名)/【熊本】宇土(2名)/玉名(2名)/熊本学園大学付属(1名)/【群馬】太田東(1名)/【高知】 高知小津(1名)/【佐賀】唐津東(3名)/鹿島(1名)/白石(1名)/致遠館(1名)/佐賀北(1名)/伊万里 (1名)/【静岡】静岡東(1名)/清水東(1名)/島田(1名)/【東京】東京成徳大学(1名)/【徳島】城北(1名) /徳島北(1名)/【栃木】小山西(1名)/【富山】呉羽(1名)/【長崎】長崎西(8名)/長崎東(5名)/長崎 北(4名)/長崎日大(3名)/佐世保西(2名)/佐世保南(2名)/島原(2名)/長崎北陽台(2名)/長崎南(2名) /諫早(1名)/海星(1名)/聖母の騎士(1名)/川棚(1名)/長崎鶴洋(1名)/長崎南山(1名)/猶興館(1名) /【長野】大町(1名)/【奈良】畝傍(1名)/【兵庫】六甲(2名)/滝川第二(1名)/滝川(1名)/【広島】広 島城北(1名)/呉三津田(1名)/廿日市(1名)/広島井口(1名)/【福岡】西南学院(2名)/福岡西陵(2名) /伝習館(1名)/泰星(1名)/祐誠(1名)/香住丘(1名)/東筑(1名)/三池(1名)/光陵(1名)/【三重】日 生学園第一(1名)/【宮城】水産(1名)/【宮崎】高鍋(1名)/日南(1名)/日本大学(1名)/【山形】寒河 江(1名)/新庄北(1名)/【山口】山口(1名)/野田学園(1名)/豊浦(1名)/下松(1名)/宇部(1名)



09年3月の卒業生に祝辞を述べる秦水産学部同窓会会長



卒業生を代表してお礼を述べる



卒業式後の祝賀会





涼風献上



季節の素材を活かし心こめた  
お料理を満喫してみませんか

# 飲み放題

※下記のコース料理にプラスで1,500円飲み放題(2時間)

- お一人様 2,000円コース  
(2名様より)
- お一人様 3,000円コース  
(2名様より)
- お一人様 4,000円コース  
(2名様より)

ご予約  
ご承り中!



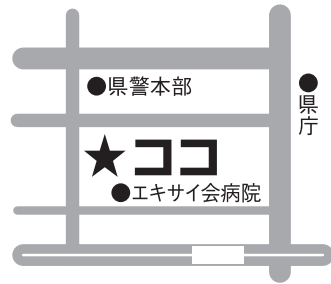
60名様までの個室完備

## 味処 まつから屋

社長 長村 和博 (17・製)

長崎市樺島町8-2 TEL 821-4661

日曜・祭日歓迎(要予約)



●県庁

●県警本部

★ココ

●エキサイ会病院

●夢彩都

事業内容：長崎県からの受託事業並びに  
魚介類種苗生産事業

# 株式会社 長崎県漁業公社

〒857-0413 長崎県佐世保市小佐々町楠泊1847

TEL(0956)69-2586 FAX(0956)69-2756



# 涼風献上



医療、研究分野に貢献します。  
地域医療に奉仕します。



URL <http://www.technosuzuta.co.jp/>

[本 社]  
〒852-8116 長崎市平和町24-14 TEL:095-848-5221  
[営業本部]  
〒851-0103 長崎市中里町1384 TEL:095-839-3090  
[佐世保営業所]  
〒858-0923 佐世保市日野町755 TEL:0956-28-4365  
[福岡営業所]  
〒816-0088 福岡市博多区板付1丁目9-18 TEL:092-418-1184

水産養殖関連資材、テント、シート  
フィルター製作（医薬品、化学製品、製粉工場用）



代表取締役社長 小吉 泰彦

本 社・工 場 / 〒850-0043 長崎市八千代町1番15号  
TEL : (095) 822-2412  
FAX : (095) 827-6169  
E-mail : [tenmak@tenmaku.co.jp](mailto:tenmak@tenmaku.co.jp)  
<http://www.tenmaku.co.jp>



〒852-8003 長崎県長崎市旭町3番15号  
Tel:(095) 861-3261・Fax:(095) 861-3290

代表取締役社長 吉田 秀康

支 店：長崎、佐世保、下関、南九州  
営業所：長崎、佐世保、福岡、下関、萩  
宮崎、延岡、鹿児島、沖縄  
出張所：対馬、阿久根

ISO/IEC 27001 認証取得



代表取締役社長 久保 東

本 社 / 〒850-0875 長崎市栄町5番11号  
TEL (095) 824-3511 (代)・FAX (095) 824-4068  
URL <http://www.ndkcom.co.jp>

## 記念誌・自費出版 お見積り承ります



最新刊

〈島原出身・元長崎県総務部長〉  
小田浩爾・聞き語り集  
巡り逢いこ人達

その視点は、たえずグローバル。  
かつて、県庁には小田浩爾という型破りな役人がいた。  
編集・江口 清

(A5版・172頁) お問い合わせは当社まで  
(定価1,000円(税別))

〒852-8134 長崎市橋口町21-12

## ∞ 協和印刷

TEL 095-849-5733



代 表 片岡 拓州

長崎市家野町1-1 長大正門ヨコ  
TEL 845-1822

# お知らせ

訃報 謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

| 会員番号    | 氏名    | 逝去       | 会員番号   | 氏名    | 逝去       |
|---------|-------|----------|--------|-------|----------|
| 01・1・23 | 脇山 国定 | H21.3.18 | 17・1・4 | 小島 隆夫 | H21.5.25 |

## 編集後記

「鶴友」79号をお届けいたします。今年の鴻洋祭（5月30～31日）は40回という節目の鴻洋祭だった。長崎大学の各学部には学生組織（自治会）がなくなっていて、唯一水産学部の学生自治会（学友会）の学生が実行委員会を結成して鴻洋祭を実施している。聞くところ大学（本部）側から陰に陽に圧力があると聞く。伝統を受け継ぎそして後輩に引き継いでほしい。唯一市民に学部を公開する機会でもある。また、同窓生も大いに関心を持って参加してほしい。

09年度の補正予算が5月29日成立した。「100年に一度の経済危機」に対応するとして約15兆円に上る過去最大規模の予算を組んでいる。しかし、中身は大企業や富裕層優遇の大型公共事業や減税、業界支援策がずらり。選挙目当てのバラまき予算に思える。「国立メディア芸術総合センター」（アニメ会館）に117億円の予算にはあいた口がふさがらないのは私1人だけだろうか。

すでに日本は国、地方合わせ800兆円もの長期債務残高という借金を抱えており、さらに15兆円の財源の80%は借金（赤字国債11兆円）である。将来に消費税増税という形と、年金・医療・介護など社会保障費や教育費のカットを押しつける。国民の多くが反対せざるをえない。国民が安心、安全に暮らせる社会を一刻も早くつくりたいものである。憲法では「主権在民」とある。

2009年6月20日

編集委員長 西中須 盈（11・増）

編集委員：西中須盈（委員長）、吉貝聖生・深野道正・菊野寛史・渡邊秀悟（学外理事）、竹下哲史（学内理事）

発行：2009年7月1日 第79号

発行所：長崎大学水産学部「鶴水会」  
〒852-8521 長崎市文教町1-14  
TEL・FAX：095-843-6404  
E-mail：f2054@cc.nagasaki-u.ac.jp  
〒振替口座：01830-3-532

印刷所：協和印刷

TEL：095-849-5733



水産学部玄関前の池に棲む亀さん

# 世界遺産登録へ向けて



大曽教会(新上五島町)



高井旅教会(新上五島町)



ステンドグラス



大浦教会・手作りマリア(新上五島町)



鯛ノ浦教会(新上五島町)



キリタン墓地内にある聖母の絵



桐教会(新上五島町)